

## 平成 2 7 年度第 3 回理事会議事概要

日 時 : 平成 2 7 年 6 月 1 2 日 (金) 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

場 所 : 森林総合研究所 特別会議室

出席者 :	理事長	沢田 治雄
	理事 (企画・総務・森林保険担当)	鈴木 信哉
	理事 (研究担当)	田中 浩
	理事 (育種事業・森林バイオ担当)	渡邊 聡
	理事 (森林業務担当)	奥田 辰幸
	理事 (法令遵守担当)	百々謙治郎
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	石田 祐二
	総括審議役	飯田 道夫
	総括審議役	猪島 康浩
	審議役	安樂 勝彦
	企画部長	高橋 正通

## 1. 開会

## 2. 議事

(石田総括審議役)

ただいまより、平成27年度第3回理事会を開催いたします。本日は議題が3件、報告が7件となっております。順次説明をお願いいたします。

### (1) 木材利用モデル事業所宣言について

(鈴木理事)

資料Ⅰ－1にありますとおり、「地球環境に優しい木材利用モデル事業所宣言について(案)」を提案させていただきます。この宣言案につきましては、平成22年の「公共建築物等木材利用促進法」の施行を受け、当所においても木材利用の促進に関する研究等に取り組んできておりますが、当研究開発法人の目的を鑑みれば、自らも業務運営の一環として利用促進に積極的に取り組んでいくことが極めて重要であり、また、これら取り組みを研究開発に反映させることにより、最大限の成果を確保することを目指し、モデル事業所宣言を行いたいと考えます。具体的な取り組みの対象としましては、建物、内装、外装、オフィス家具、什器、熱利用等において木材、木製品を積極的に利用していくことを予定しており、これらの調達にあたっては、契約責任者等が木材製品や木材利用の促進に資する製品であることを確認するとともに、仕様書にこれを明記してまいりたいと考えております。また、この取り組みは、本所ならびに各センター及びこれらの地方組織とし、地方組織にあっては可能な限り地域材を利用するよう努めてまいりたいと考えています。以上、本件について提案いたします。

(理事長)

宣言を出すからにはこれをしっかり取り組んでいただくようお願いします。

(理事長)

本件議題は理事会として了承されました。

### (2) 中期計画、年度計画に係る自己評価書の提出について

(高橋企画部長)

通則法に基づき、中期計画、年度計画に係る自己評価書を今月中に農林水産

大臣に提出することとなっておりますが、現在作業中であり、追って各理事に決裁をいただくとともに、次回理事会において報告させていただきたいと思えます。

（理事長）

本件議題は理事会として了承されました。

（３）「夏のライフスタイル変革」の導入について

（鈴木理事）

資料Ⅰ－２をご覧ください。４月２４付けで林野庁研究指導課長から、「「夏の生活スタイル変革」の推進について」の文書をいただきました。また、その後、５月に大臣官房秘書課から「農林水産省における「夏の生活スタイル変革」の実施方針（案）」が示されたところです。これらを受けて、当研究所としても対応しているところではありますが、保育所や通勤の問題等もあることから、フレックスを一部導入している研究育種部門のほか、各センターの実情も踏まえどのように対応するか検討してまいりたいと思えます。本案件は勤務時間に関するものでもあり、本来理事会で決定すべき事項ではありますが、成案が得られた段階で文書決裁により対応を決定するということで理事会の承認をいただきたいと思います。

（渡邊理事）

出勤時間を選択できる制度もあり、これの活用により対応できるのではないのでしょうか。

（鈴木理事）

そのような対応も可能かと思えますが、勤務形態がまちまちな面もあることから、森林総研全体としてどのように対応するか検討が必要と考えております。

（理事長）

趣旨を尊重し、何らかの対応はしていただきたいと思います。

（鈴木理事）

農林水産省の実施方針案では、幹部職員が率先垂範して定時退庁を行うなどの例も示されており、これらを含めどのように対応が望ましいかを検討してまいりたいと思えます。なお、結果につきましては次回理事会でご報告させていただきます。

たきます。

（理事長）

本件議題は理事会として了承されました。

（石田総括審議役）

以上で議題の説明を終わります。続いて報告事項の説明に移ります。

（１）独立行政法人評価制度委員会の現地調査ほかについて

（石田総括審議役）

５月２７日に独立行政法人評価制度委員会委員及び総務省行政管理局の方々  
が当研究所に現地視察に見えられ、当方からは理事長、理事ほかから研究所の  
概要ならびに主な研究概要につき説明させていただきました。また、質疑の中  
ではガバナンス、シナジー効果、男女共同参画への取り組み等について説明し  
たところであります。また、７月下旬に同委員会による北海道支所への現地視  
察、８月下旬には総務省行政管理局による西表熱帯育種技術園への業務視察の  
要望をいただいております。これらにつき、現地において適切に対応してまい  
りたいと思います。

また、評価制度に係る新たな通知が来ております。具体的には、「独立行政  
法人の目標の策定に関する指針」、「独立行政法人の評価に関する指針」であ  
りまして、今回の中長期計画の評価、次期中長期目標の策定につきましてはこ  
れらの指針に基づくこととなります。また、「独立行政法人における調達等合  
理化の取り組みの推進について」も新たに示され、当研究所においても「調達  
等合理化計画」を策定し、毎年度の年度評価の一環として実施していくことと  
なったところであります。

（理事長）

不適正経理処理事案もあり、物品調達のルールが煩雑になっているが、この  
計画により改善される部分はあるのでしょうか。

（石田総括審議役）

現在、調査中の案件でもありますが、今回の調達等合理化計画により調達の  
円滑化が図られるよう努めてまいりたいと思います。

（２）情報セキュリティ対策の徹底について

(高橋企画部長)

日本年金機構の情報流出事案は社会的に大きな問題となっているところですが、この問題を踏まえ、当研究所において講じた対策等につきましては、資料Ⅱ－２のとおり、個人情報を含む重要情報の管理実態の点検、森林整備センター、森林保険センターの業務システムについて管理運営業者に対するセキュリティ対策徹底の要請、全役職員に対する情報セキュリティについての注意喚起を緊急に実施するとともに、標的型攻撃メールも含めた研修及び訓練の実施を予定しているところであります。

(猪島総括審議役)

森林保険センターにおきましては、事務を委託している県森連及びシステム管理運営業者に対して文書で要請しております。

(奥田理事)

森林整備センターにおきましてもシステム管理運営業者に対して文書で要請しております。

(鈴木理事)

森林保険センターにおきましては保険加入者の個人情報を扱っていますので、役職員全員が参加して取り組んでいくことが重要と考えています。

(理事長)

万全を期して取り組んでいただくようお願いします。

(３) 職員採用スケジュールについて

(鈴木理事)

平成２８年度一般職員採用についてであります。資料Ⅱ－３－１をご覧ください。採用数については退職者数等を考慮し研究部門４名程度、育種部門２名程度としたいと考えております。また、優秀な人材を確保するために、周辺情勢を考慮し昨年よりも採用スケジュールを早め７月初旬には公募を開始するとともに、試験会場についても本所のほか支所についても考慮したいと考えております。

続いて研究職員の採用についてであります。資料Ⅱ－３－２をご覧ください。採用数については、退職者の動向、研究の継続性、優秀な若手人材の確保等を考慮し、本年１０月１日付けで８名程度、２８年４月１日付けで１０名程度の

採用を検討しております。スケジュールがまとまり次第理事長決裁を経て公募していくこととしたいと考えております。

（４）平成２７年度リスク管理の実施について

（石田総括審議役）

本年度のリスク管理の実施に係る基本的な考え方、及び今後のスケジュールについて、資料Ⅱ－４にお示ししたとおり取り組んでいくこととしております。追って、リスク管理委員会において計画を決定し、役職員全員参加により取り組んでまいりたいと考えております。

（５）カラマツ採種園管理のための技術講習会について

（渡邊理事）

資料Ⅱ－５をご覧ください。林木育種センターでは、近年需要が急速に高まっているカラマツ種子について安定的供給を図るための技術講習会を６月２日に東信森林管理署管内の採種園において開催いたしました。当日は、山梨県、長野県、中部森林管理局等から関係者が多数の参加があり、また、報道機関からの取材もあったところであります。

（６）森林保険加入促進キャラバンの実施について

（猪島総括審議役）

森林保険センターでは、森林保険の加入促進を戦略的に進めるため、資料Ⅱ－６のとおり、現在、全国を６ブロックに分けて都道府県森林組合連合会の森林保険業務担当者を集め、森林保険の現状及び課題分析、今後の対策等について協議するためのブロック会議を実施しております。また、加入促進の目標についても設定していただくようお願いしているところです。なお、今回、２０１５年度ミスミどりの女神を起用して加入促進のためのポスター及びチラシを作成し配布しているところです。

（理事長）

年間の加入目標はどのくらいですか。

（猪島総括審議役）

約３万件を予定しております。

（７）森林整備センターの平成２７年度春の地域活動について

(奥田理事)

森林整備センターでは、水源林の重要性や水源林造成事業の役割等を広く国民の皆様に周知啓発し、理解を深めていただくため、各地におきまして植樹祭、森林教室を開催するとともに、地域の緑化行事等にも積極的に参加し、地域の方々との連携を推進しております。特に、本年度5月には岩手県上閉伊郡大槌町では、先の東日本大震災に伴い発生した山火事跡地において地元吉里吉里小学校の生徒さんや地元関係者多数参加の下で復興植樹祭を開催したところがあります。また、今月6月18日には京都府船井郡京丹波町の丹波ひかり小学校におきまして森林教室を行うなど、引き続き各地で様々な取り組みを予定しているところでもあります。

(理事長)

このような取り組みは非常に重要と思います。引き続き支所、育種センター等とも連携し積極的に取り組んでいただきたいと思います。

(8) その他

(鈴木理事)

6月末までに財務諸表を農林水産大臣に提出することとなっておりますが、監査法人のチェックをいただいたうえで、後日、決裁により処理させていただきます。

(石田総括審議役)

報告事項は以上です。

これにて平成27年度第3回理事会を終了いたします。

次回の平成27年度第4回理事会は7月10日(金)に開催予定です。

### 3. 閉会